

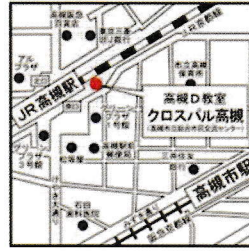
9/27 (日)

開場 13:15

開会 13:45
~16:45

高槻市総合市民センタークロスパル
視聴覚室5F

資料代 500円



◇「子どもを被ばくから守る会」記念講演

『なぜ、子どもを放射線から守ることが
大切なのか・市民運動の役割』

講師：藤岡 毅さん

(JCRR 日本放射線リスク評価委員会事務局長)

科学史家。博士。大阪経済法科大学21世紀社会総合研究センター
客員教授(2018年4月~現在)、同志社大学理工学部嘱託講師
科学史科学論(2009年10月~2025年3月)

◇「あきれ果てても、あきらめない」

出版記念講演

『二度と大切な人を被ばくさせないために』

話し手：和田秀子さん

(一般社団法人ままれぼ出版局代表/執筆家)



聞き手：片岡輝美さん

(元子ども脱被ばく裁判共同代表・会津放射能情報センター代表)



◆原発事故・被害当事者としての発言を予定

主催：子どもを被ばくから守る会

問合せ：nonukeschildren@gmail.com

Zoom 参加
QRコード



申し込みアドレス
asunettakatsuki@gmail.com

記念の集い

「子どもを被ばくから守る会」発足

『なぜ、子どもを放射線から守ることが大切なのか・市民運動の役割』
『二度と大切な人を被ばくさせないために』
『あきれ果てても、あきらめない』出版

核のない世界で子育てしたい

未来へつなぐいのちを

子どもを被ばくから守る会

『子ども脱被ばく裁判』を支える会・西日本」から、「子どもを被ばくから守る会」へ

支える会は「裁判を支える」役割を終えましたが、「子どもを被ばくから守る」という本来の課題は未解決のまま置き去りになりました。その為に私たちは組織を継続し、子どもたちを被ばくから守る活動を行うこととしました。大切な命を守る情報を共有し、緩やかにつながり続け、次世代を守りましょう。

2026年5月

子どもを被ばくから守る会 会長 水戸喜世子

集会呼びかけ

子ども脱被ばく裁判の歩みを経て、ここに「子どもを被ばくから守る会」立ち上げ集会を開催します。10年にわたる裁判の闘いの記録「あきれ果てても、あきらめないー『子ども脱被ばく裁判』ー子どもたちはなぜ守られなかったのか」を携えて、世に子どもを被ばくから守る「人道」を広めます。東京電力福島第一原子力発電所事故時、甚大な放射能汚染の中、苦悩する人々によって拓かれたその道を守り、命をつなぐ権利と責任において、ともに学び、行動し続けます。つながりは私たちを支える命の力、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

被ばくのこと話しましょう。いのちをまもるために、つながり合いましょう。

本当のこと知ろう 被ばくに関する学習会開催・情報共有

大切な人に伝えよう すす野を広げるくちコミ・ミニコミ通信発行

子どもを守れ！ ダメなことはダメ！と最高裁に意思表示

力あわせて バラバラでいっしょのつながりかたで

年会費 1000 円（複数人一括送付の場合一人 500 円）送金で入会申し込み

振替口座名 子どもを被ばくから守る会

口座番号 00980-8-307639

子どもを被ばくから守る会 nonukeschildren@gmail.com

事務局 Tel 090-3611-0162（後藤由美子）